

◆在外研究助成

【2024 年度】

基盤教育機構 准教授 影浦亮平

派遣先：ストラスブール大学(フランス)

派遣期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

「研究内容」

研究課題：サステナビリティの哲学・倫理的検討

在外研究を行うストラスブール大学は 1621 年設立の大変古い大学であり、また、私が修士号と博士号を取得した大学でもある。

このストラスブール大学の **Centre de recherches en philosophie allemande et contemporaine** (ドイツ・現代哲学研究所) の招聘研究員として活動する。研究所の多様な活動に参加し、フランスにおける哲学の新しい動向に対する知見を深めつつ、哲学という学問の根本に対する理解を研鑽しようと思う。最近の私は、**SDGs** 等のビジネス領域における応用倫理学的研究をすることが多いが、そうした研究の方法論的な部分に、これまでの哲学史における知的遺産を結び付けることを視野に、そのための土台となる哲学理論に対する理解を多角的に深めることを今回の在外研究の目標とする。

今年度の直接的な研究成果だけではなく、今後 10 年の研究成果の礎を構築することまで視野に入れて、日々の研究活動を行っていく。